

事務事業名		男女共同参画審議会運営事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					担当組織	担当部	市民生活部	担当課	人権・男女共同参画課	
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり					担当係	男女共同参画係		担当課長名	小菅 誠	
	施策	2 個々の人権を尊重する地域社会の形成と男女共同参画社会の実現					新規事業・継続事業			継続事業		
	基本事業	3 男女共同参画の意識づくりの推進					実施計画事業・一般事業			一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名						
	2078	一般	2	1	15	男女共同参画審議会運営事業						
	事業区分						市単独事業・国県補助事業			市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し		事業期間		H13年度～ 年度	根拠法令 条例等	佐野市男女共同参画推進条例、 佐野市男女共同参画審議会規則					
	事業区分						任意的事業・義務的事業			任意的事業		
	事業区分						実施方法			直営		
事業区分						事業分類			審議会・協議会等運営事業			
事業区分						リーディングプロジェクト			該当なし			
事業区分						市長マニフェスト			該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)												
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)				平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)								
市長の求めに応じ、佐野市における男女共同参画社会づくりについて、幅広い意見や専門的意見を聴くために、審議会を開催する。				〔活動内容〕 ・審議会委員の改選(任期H26.9.1～H28.8.31) ・男女共同参画プランに基づく各種事業等について審議を行うための会議(1回)								
活動指標				単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)			
会議の開催延べ回数				回	1	1	1	1	2			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)												
男女共同参画審議会委員				対象指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
委員数				人	15	15	15	15	15			
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)												
目的 調査・審議事項に対し意見を述べてもらう。				成果指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
調査・審議事項数				件	1	1	1	1	2			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)												
男女共同参画の理解を深めている。				上位成果指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
男女共同参画講演会、研修会延べ参加者数				人	303	549	375	380	385			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投入量	財源内訳	千円										
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	84	84	213	213	213					
	事業費計(A)	千円	84	84	213	213	213					
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			委員報酬	84	委員報酬	84	委員報酬	213	委員報酬	213	委員報酬	213
	人件費	人	2	2	2	2	2					
のべ業務時間	時間	110	150	110	150	110						
人件費計(B)	千円	428	591	434	591	434						
トータルコスト(A)+(B)	千円	512	675	647	804	647						

事務事業名	男女共同参画審議会運営事業	担当部	市民生活部	担当課	人権・男女共同参画課	担当係	男女共同参画係
-------	---------------	-----	-------	-----	------------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	佐野市における男女共同参画に関する計画(プラン)を策定するにあたり、平成13年8月に佐野市男女共同参画推進懇話会設置要綱を制定した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	栃木県において、男女共同参画に関する条例が平成14年12月に制定され、審議会が設置された。近隣の足利市、栃木市及び小山市においても条例が制定されている。 佐野市においては、平成18年7月に佐野市男女共同参画推進条例が施行となり、懇話会は、佐野市男女共同参画審議会になった。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	平成26年度の改選に伴い公募により委員を募ったところ、女性4名の応募があり、うち2名は「とちぎ女性政策塾」、1名は「とちぎ次世代人材づくり事業」受講者である。男女共同参画社会の実現について研修で学んだことを提案していきたいという意見があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	行政の男女共同参画に関する施策の実績と計画を審議することにより、その内容がより適したものに改善されることになり、男女共同参画活動の支援と推進体制の整備に結びつくと考え。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	佐野市男女共同参画審議会は、幅広い視点からの意見や専門的意見を、市の男女共同参画に関する施策に反映させるため設置されたものであり、市が行うことは妥当である。男女共同参画社会の実現は、国において緊急かつ重要な課題と位置付けられており、県や市町村においても男女共同参画の推進のための施策が求められている。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	佐野市男女共同参画審議会は、幅広い観点からの意見や専門的意見を、市の男女共同参画に関する施策に反映させるため設置されたものであり、対象と意図は妥当であると考え。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	男女共同参画についての市民の認知度がまだ低く、当面は現行水準と思われる。今後、啓発が進み認知度が高まれば、市民からの意見、苦情、相談が増え、審議会において協議する件数も増えるものと考え。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	佐野市男女共同参画審議会は、幅広い観点や専門的な意見を、市の男女共同参画に関する施策に反映させるため設置されたものであるため。
	*類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	委員報酬は定額のため、事業費は現行水準になると考える。 また、市民からの意見等に対応する件数が増えると、会議の開催回数も増え、事務の効率化だけでは事務量の減少は見込めないと思われる。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	市の施策について意見を聴取するものであり、受益者負担を求める余地はないと考え。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 男女共同参画社会が実現する時まで、事業は継続する必要がある。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			